

キャリアプラン入門Ⅱ(基礎ゼミナールⅡ)

キャリアプラン入門Ⅱ(基礎ゼミナールⅡ)

2単位(必修)1年(後期)

伊藤 正幸・教授/総合理数学科, 平井 松午・教授/社会創生学科

【授業目的】 将来の社会的・職業的自立を目指し、キャリアプラン、ライフプランに対する基本的な視点・展望を持つために必要な素養と社会的能力を養う。キャリア体験講座や適性把握演習を通じて自らの立ち位置ならびに適性を把握するとともに、学部・学科の教育理念を理解し基礎学力を養成するための準備を行う。

【授業概要】 前半のキャリアプランニング部分は、学部合同で講義される。キャリア体験講座を通じて学生個々に自らの職業観について考える。必要に応じてレポートが課せられる。次いで適性検査にもとづき、自らの適性を性格、言語、係数、総合の観点から診断・把握する。それらをもとに自らキャリアプランを作成する。さらにコンピテンシー(企業等で要求される能力・行動特性)について学ぶとともに、各自が必要なコンピテンシー項目を選定し、Web版キャリア学習ポートフォリオに登録する。後半部分は、小クラスに分かれ、ゼミナール形式で遂行される。将来の自立のために大学での学業面での充実を目指し、学科の理念を理解し、自らの社会力・基礎学力を養成するために何をすべきかを学ぶ。課題の設定、情報の収集、知識の構築、発表

【キーワード】 課題解決・探求型学習、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、キャリアプランニング、自己開発

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【履修上の注意】 前半部分と後半部分は授業形態や内容に差がありますが、前半部分でとらえた将来の自分の視点に立って、学部学科で主体的に学ぶための方々に関し後半部分で課題設定とその取り組み方について学ぶ。

【到達目標】 誰もが将来、社会的・職業的自立をしなければならないことを認識し、そのための行動を始める。課題解決・探求型学習の授業で、コミュニケーション能力、知識の整理、プレゼンテーション能力の向上を目指す。

【授業計画】

1. キャリアプラン体験講座(1. 考え方)
2. キャリアプラン体験講座(2. 事例紹介)
3. 適性把握演習(性格・言語)
4. 適性把握演習(計数・総合)
5. 自らのキャリアプラン・ライフプランを考える。
6. 各業種・職種のコンピテンシー
7. Web版ポートフォリオの設定

8. 後半のガイダンスとテーマに関するグループミーティング

9. 個々人の状況設定と課題設定(問題意識と動機の設定)

10. 情報収集

11. 問題点の整理と、情報収集

12. 課題解決の構築

13. 発表準備

14. PowerPointを使用した発表I

15. 発表会Ⅱと課題解決に対する評価

16. 総括授業

【成績評価】 前半7回は、出席や(レポートの提出状況など)受講態度による。また、Web版キャリア学習ポートフォリオへの報告内容についても成績評価の対象となる。後半部分のゼミに対する取り組み状況、発表態度と合わせ総合的に評価する

【再試験】 なし。

【教科書】 特に指定しない。

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218528>

【連絡先】

⇒ 伊藤 (総合科学部1号館1220, 088-656-7219, mas-ito@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 1. (前期)火曜日12:00-12:45, (後期)火曜日16:30-17:30 2. 月曜日 16:30-17:30)

キャリアプラン入門Ⅱ(基礎ゼミナールⅡ)

2 units (compulsory) 1st-year(2nd semester)

Masayuki Ito · PROFESSOR / DEPARTMENT OF MATHEMATICAL AND MATERIAL SCIENCES, Shogo Hirai · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target 将来の社会的・職業的自立を目指し、キャリアプラン、ライフプランに対する基本的な視点・展望を持つために必要な素養と社会的能力を養う。キャリア体験講座や適性把握演習を通じて自らの立ち位置ならびに適性を把握するとともに、学部・学科の教育理念を理解し基礎学力を養成するための準備を行う。

Outline 前半のキャリアプランニング部分は、学部合同で講義される。キャリア体験講座を通じて学生個々に自らの職業観について考える。必要に応じてレポートが課せられる。次いで適性検査にもとづき、自らの適性を性格、言語、係数、総合の観点から診断・把握する。それらをもとに自らキャリアプランを作成する。さらにコンピテンシー(企業等で要求される能力・行動特性)について学ぶとともに、各自が必要なコンピテンシー項目を選定し、Web版キャリア学習ポートフォリオに登録する。後半部分は、小クラスに分かれ、ゼミナール形式で遂行される。将来の自立のために大学での学業面での充実を目指し、学科の理念を理解し、自らの社会力・基礎学力を養成するために何をすべきかを学ぶ。課題の設定、情報の収集、知識の構築、発表

Keyword 課題解決・探求型学習, *communication skill*, プレゼンテーション能力, キャリアプランニング, 自己開発

Fundamental Lecture [先行科目]

Relational Lecture [関連科目]

Notice 前半部分と後半部分は授業形態や内容に差がありますが、前半部分でとらえた将来の自分の視点に立って、学部学科で主体的に学ぶための方々に関し後半部分で課題設定とその取り組み方について学ぶ。

Goal 誰もが将来、社会的・職業的自立をしなければならないことを認識し、そのための行動を始める。課題解決・探求型学習の授業で、コミュニケーション能力、知識の整理、プレゼンテーション能力の向上を目指す。

Schedule

1. キャリアプラン体験講座 (1. 考え方)
2. キャリアプラン体験講座 (2. 事例紹介)
3. 適性把握演習 (性格・言語)
4. 適性把握演習 (計数・総合)
5. 自らのキャリアプラン・ライフプランを考える。
6. 各業種・職種のコンピテンシー
7. Web版ポートフォリオの設定

8. 後半のガイダンスとテーマに関するグループミーティング

9. 個々人の状況設定と課題設定 (問題意識と動機の設定)

10. 情報収集

11. 問題点の整理と、情報収集

12. 課題解決の構築

13. 発表準備

14. PowerPointを使用した発表 I

15. 発表会 II と課題解決に対する評価

16. 総括授業

Evaluation Criteria 前半7回は、出席や(レポートの提出状況など)受講態度による。また、Web版キャリア学習ポートフォリオへの報告内容についても成績評価の対象となる。後半部分のゼミに対する取り組み状況、発表態度と合わせ総合的に評価する

Re-evaluation なし。

Textbook 特に指定しない。

Reference [参考資料]

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218528>

Contact

⇒ Ito (Faculty of IAS 1-1220, +81-88-656-7219, mas-ito@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 1. (前期)火曜日12:00-12:45, (後期)火曜日16:30-17:30 2. 月曜日 16:30-17:30)